

- ★職業訓練生は、2年間、本学の学生として一般学生と一緒に学び、学校行事にも参加します。現在も幅広い年齢層の職業訓練生が一般学生とともに学んでいます。
- 子育て中の方も在学しており、勉強と子育てを両立しながら、学んでいます。
- ★卒業時には、短期大学卒業の「学位」が取得できます。
- ★本学卒業生への評価が高く、地元秋田での高い就職実績があります。



本学で学ぶ職業訓練生を紹介します!

保育士養成科（生活文化科生活こども専攻）

卒業時には、保育士、幼稚園教諭二種免許の2つの資格を取得できるため、安定した高い就職率を維持しています。就職先は、保育園、幼稚園、認定こども園、福祉施設などがあります。



Kさん (28歳)

私は、社会の一員として一生、続けられる仕事がしたいと思い、長期高度人材育成制度を利用し、保育の道を志しました。

家庭と学業の両立が大変と感じることもありますが、短大の先生の支えや家族の協力もあり、充実した学生生活を送っています。

経験豊富な先生方から保育を学ぶことは、子育てのヒントやわが

子の理解、普段の子育て経験が学びに生かされることもあります。初めは、不安に思っていた年齢の違う学生と一緒に学ぶことも、一緒に過ごす中で自分にはなかった考えを知ることができ、様々な物の見方や感じ方に気づかされました。短大での2年間は、素直に楽しいと思える貴重な時間です。



Oさん (28歳)

私は、企業で非正規職員として勤務していましたが、今後はより安定した職業に就きたいと思い、かつての夢だった保育士の資格取得のため、長期高度人材育成制度を利用し、入学しました。

入学前は、年の離れた学生達とうまくやっていけるか、授業についていけるかなど、たくさ

ん不安がありましたが、いざ、入学してみると、クラスメートや先生方に恵まれ、楽しい学校生活を送っています。在学中には合宿研修や文化祭など、様々なイベントがあり、一つ一つ経験していくごとに年の離れた友人たちとの信頼関係や団結力が高まったように感じます。

栄養士養成科（生活文化科健康栄養専攻）

栄養士のほか、任意で栄養教諭二種免許、フードスペシャリスト、秘書士、ビジネス実務士、情報処理士などの資格を取得することも可能です。主な就職先は、福祉（高齢者・児童）、医療、学校、給食委託会社などです。



Aさん (33歳)

私が栄養士を目指そうと思ったのは、高校生の頃に体調を崩し、長期入院をしたことがきっかけです。その際、出された病院食が私のその時の状態に相応しく、また物足りなさを感じることもなく「美味しい」と思えました。患者さんに適した献立を考え、作れるなんて素晴らしいと思い、その頃から栄養士という道に進みたいと考えていました。しかし、学費面や子育てをしながらでは難しいことが多かったので、少しでも近づけるよう、調理師免許取得を目指しました。その頃たまたま行ったハローワークで長期高度人材育成制度があると知り、すぐに応募しました。

短大では、人間が健康に生きるための基本の「食」や「身体」のことなど、幅広く学んでいます。また、私は、入学して1年目の夏に以前から目指していた調理師試験を受験し、調理師免許も取得しました。その際、短大で学んだ調理学や食品衛生学は、受験にも役立ちました。

学んだことは、実生活で生かせる場面がとて多く、家族にアドバイスできたり、実習で作った料理を家庭で作ったりすると、普段自宅では作らないような料理なので、目新しく食事が更に楽しいものになりました。

ずっと、なりたかった栄養士になれるチャンスなので、将来は「調理のできる栄養士」を目指し、勉学に励んでいます。子育て中なので、なかなか自宅で勉強をする時間をたくさん作れないなど課題はありますが、先生方もとても親身になって相談に乗ってくれるので、全力で取り組むことができます。もし、入学を悩んでいる社会人の方は、まずはやってみましょう！年齢は違っても、周りは同じスタートを切る仲間です。同じ目標を持つ人とする勉強や時間は、必ずかけがえのないものになります。

短大見学、個別相談を受け付けておりますので、ご希望の方は、事前にお申し込みください。

見学、相談可能日 [月～金曜日9時～16時30分、土曜日9時～13時]

TEL 018-845-4111、mail tandaijimu@akita-seirei.ac.jp

